

※ 日本人用無歯顎既製トレーの使用法 ※

【特徴】

日本人の顎堤は、欧米人に比較して、幅が広いのが特徴です。日本人用無歯顎既製トレーは、日本人の無歯顎顎堤計測値に基づいてデザインされておりますので、上顎9種類（写真1）、下顎11種類（写真2）のうちどれかが患者の顎堤に高い精度で適合します。



写真1：上顎9種類



写真2：下顎11種類

【使用上の注意事項】

1. 滅菌

本製品は、3Dプリンターにより、人体と環境に優しい植物由来のPLA樹脂にて造形されております。そのため、加熱により変形します。

滅菌は、オートクレーブではなくガス滅菌を利用して下さい。

2. 清掃

トレーの細かい隙間に入り込んだ印象材は、アルギン酸塩印象材専用清掃材に長時間（一晚）漬けて除去して下さい。

3. 形態修正

トレー辺縁部は、カーバイトバーにより形態を修正することができます。ただし、摩擦熱により変形することがありますので、低速で圧をかけずに削合して下さい。

4. その他

当社は、本製品による医療事故に関して責任を負いかねますのでご了承下さい。

【使用方法】

1. 顎堤の計測

上顎

付属の上顎計測器（頬側左右幅 65 mm）を使用して、頬側の左右幅を計測します（写真3）。これにより、患者の上顎頬側の幅を平均値と比較できます。前後幅は、顎堤形態から予測します。旧義歯がある患者の場合、旧義歯を計測することにより（写真4）、適合するトレーをより正確に選択することができます。



写真3：計測器

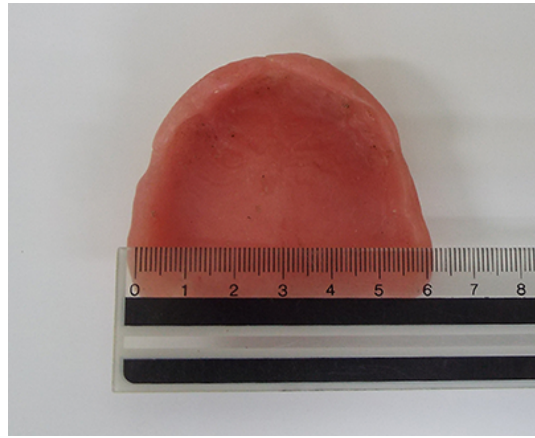


写真4：旧義歯の計測

下顎

付属の下顎計測器（舌側左右幅 46 mm）を使用して、舌側の左右幅を計測します（写真5）。旧義歯がある場合は、義歯を計測します（写真6）。



写真5：下顎計測器



写真6：旧義歯の計測

2. トレーの試適

上顎

選択したトレーを上顎に試適します。このときのトレーの柄と口唇との関係を記録（記憶）します。この関係は、印象採得時のトレーの位置設定に利用します。（写真7）

下顎

選択したトレーを下顎に試適します。このとき、患者に舌を前上方に出させてもトレーが浮き上がらないことを確認します。その状態におけるトレーの柄と口唇との位置関係を記録（記憶）して、印象採得時のトレーの位置設定に利用します。（写真8）



写真7



写真8

3. 印象採得

上顎

印象材を盛ったトレーを顎堤に適合する前に、シリンジ（TERUMO カテーテルチップ型）を使用して、練った少量の印象材を粘膜翻転部と口蓋部に注入することにより、気泡の少ない印象を採得することができます（写真9）。トレー試適に際して記録したトレーの柄と口唇の関係を参考にして、印象材を盛ったトレーを上顎に合わせます（写真10）。



写真9



写真10

下顎

同様にトレーの柄の位置に注意して印象採得を行います。この時、患者に舌を前上方に出すように指示します。さらに「この上に舌を乗せたまま舌を動かさないようにしてください」と指示します。（写真11）



写真 11

4. 印象面の確認

上顎（写真12）

印象面の解剖学的ランドマーク（ハミュラーノッチなど）を確認します。

下顎（写真13）

印象面のランドマーク（S字カーブとレトロモラーパッドなど）を確認します。



写真 12：ハミュラーノッチ

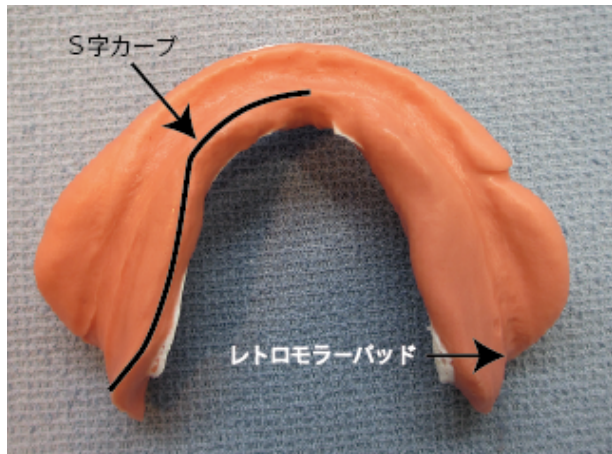


写真 13：S字カーブとレトロモラーパッド

5. 正確・精密な診断用模型

解剖学的ランドマークが明確に示されている診断用模型は、無歯顎顎堤の精密な診断を可能にします。また、適合の良い個人トレーを製作することが可能となり、無歯顎の精密印象に際して行われる辺縁形成の時間が大幅に短縮されます。

【日本人用無歯顎既製トレーのサイズ】

(単位:mm)

上顎頬側	左右幅	前後幅	下顎舌側	左右幅	前後幅
			LL	54	50
W3	77	63	WL	50	50
W2	73	60	WM	50	45
W1	69	57	WS	50	40
ML	65	59	ML	46	45
MM	65	54	MM	46	40
MS	65	49	MS	46	36
N1	61	51	NL	42	40
N2	57	48	NM	42	36
N3	53	45	NS	42	32
			SS	38	32

無歯顎顎堤 (137 症例) の計測値

上顎頬側 (左右-前後) 平均値 (65-54) 最高値 (78-63) 最低値 (53-43)
 下顎舌側 (左右-前後) 平均値 (46-40) 最高値 (55-39) 最低値 (50-33)

【製造元・問い合わせ先】

株式会社アピール 営業課
 〒036-0162 青森県平川市館山上亀岡2 6
 TEL 0172-44-3458 FAX 0172-44-8297
<https://www.appeal-net.co.jp>

【参考文献】

外川 正. 無歯顎顎堤模型の解剖学的なランドマーク間の計測－無歯顎顎堤に適合するトレーの想定－. 補綴誌 1993 ; 37 : 469～479.